

市町村名	本部町						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	本部町フクギ集落整備事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(6)-ア 沖縄らしい風景づくり		
担当部署名	建設課		事業実施 年度	平成 25	~ 平成 29	年度 沖縄振興基本方針 該当箇所	Ⅲ-1-(1)
事業内容	本部町の北部地域は、フクギ並木などで有名な観光名所であり、観光地としてふさわしい景観形成を図るため、観光集落基本構想・計画の策定、フクギの剪定、備瀬地区のフクギ集落の排水・舗装・案内板・散策路等の整備を行う。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		~H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	総事業費	
	A. 予算現額	110,873	99,732	70,848	15,336	296,789	
	B. 執行済額	104,070	95,731	64,562	15,336	279,699	
	うち 交付金充当額	83,256	76,541	51,649	12,268	223,714	
	執行率(%) (B/A)	93.9%	96.0%	91.1%	100.0%	94.2%	
執行状況の説明	・H25年度及びH27年度は地元の合意形成に不測の日数を要したため、翌年度に繰り越した。 ・最終的な執行率は94.2%となり、概ね計画的に執行できた。						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	観光集落基本構想・計画の策定	目標	観光集落基本構想・計画策定	-	-	-	-
		実績	観光集落基本構想・計画策定	-	-	-	-
	備瀬および具志堅集落におけるフクギの剪定	目標	備瀬約7,000本	-	-	具志堅剪定の実施	-
		実績	備瀬859本	-	-	具志堅剪定の完了	-
フクギ集落の排水・舗装・案内板・散策路等の実施設計および工事実施	目標	-	設計業務実施	排水・舗装・案内板工事実施	散策路工事実施	散策路工事実施	
	実績	-	設計業務完了	環境整備・案内板工事完了	散策路工事完了	散策路工事完了	
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
		H25年度	H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	
	観光集落基本構想・計画の策定	目標	観光集落基本構想・計画策定	-	-	-	-
		実績	観光集落基本構想・計画策定	-	-	-	-
	備瀬および具志堅集落におけるフクギの剪定	目標	備瀬約7,000本	-	-	具志堅剪定の完了	-
		実績	備瀬859本	-	-	具志堅剪定の完了	-
	フクギ集落の排水・舗装・案内板・散策路等の実施設計完了および工事完了	目標	-	道路設計L=780mの完了	-	散策路工事完了	散策路工事完了
		実績	-	道路設計L=2,565m完了	-	散策路工事完了	散策路工事完了
地域に訪れる観光客の安全・安心(剪定及び散策道改修による歩行者の安全確保)及び地域住民の定住環境改善(フクギ剪定による倒木等の危険性除去や日照確保)に寄与する。	目標	-	-	実施	-	-	
	実績	-	-	実施	-	-	

事業完了後の取り組み							
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況				
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度 目標/発現年度
	観光客へのアンケートにより観光地としてふさわしい景観であるか(80%以上)を含め検証を行う	目標	-	-	-	-	80%
		実績	-	-	-	-	83%
		目標					
	実績						
状況説明	<p>【H30年度】 ・備瀬フクギ並木を訪れた観光客に対し、「観光地としてふさわしい景観であるか」について整備前後の写真を元にしたアンケートを実施したところ、83%の観光客が観光地としてふさわしい景観であると回答した。</p>						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)				
<p>【H30年度】 ・アンケートによる事業効果80%を達成できた要因としては、散策路の清掃など通年を通じた地域住民らの協力によって、観光地としての景観を維持していることが要因であると考えられる。</p>			<p>【H30年度】 ・今後も地域の理解と協力を得ながら、フクギの生育・剪定、散策路の清掃など、良好な景観を維持できるよう努める必要がある。</p>				
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)							
<p>【H30年度】 ・毎月行われる区長会等による定期的な地域との連絡を行いながら、改善要望等があれば対応を検討していく。</p>							

市町村名	本部町						
沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【後年度発現事業】							
事業名	観光漁業実証調査事業				沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(1)-イ 圏域の特色を生かした産業の振興	
担当部課名	農林水産課		事業実施年度	平成26 ~ 平成29 年度	沖縄振興基本方針該当箇所	Ⅲ-1-(1)	
事業内容	本町の有する水産資源の魅力に触れる体験型観光プログラムの構築を図るため、中層型浮漁礁等を活用した実証試験を行う。観光協会、漁業協同組合と連携し受入体制の強化を図り、「ここでしか味わえない」をキャッチフレーズに観光地としてのブランド力を向上させる。						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
事業期間中の 予算額・執行額 【単位:千円】		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	総事業費	
	A. 予算現額	27,393	14,200	8,208	8,208	58,009	
	B. 執行済額	27,393	14,083	8,208	8,208	57,892	
	うち 交付金充当額	21,914	11,266	6,566	6,566	46,312	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	99.2%	100.0%	100.0%	99.8%	
執行状況の説明	<ul style="list-style-type: none"> ・H27年度は関係団体との調整に不測の日数を要したため、工事費の一部を翌年度に繰り越した。 ・最終的な執行率は99.8%となり、概ね計画的に執行できた。 						
事業期間中の 活動目標	活動目標(指標)	達成状況					
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	中層型浮漁礁整備2基設置	目標	漁礁整備2基	-	-	-	-
		実績	漁礁整備2基	-	-	-	-
	観光漁業用生簀の設置2基	目標	-	生簀設置2基	-	-	-
		実績	-	生簀設置2基	-	-	-
体験型観光プログラム確立に向けた計画策定、実証試験の実施及びデータ収集	目標	計画及び実証試験の実施	実証試験の実施	実証試験の実施	実証試験の実施	-	
	実績	計画の策定・実証試験の実施	実証試験の実施	実証試験の実施	実証試験の実施	-	
事業期間中の 成果目標	成果目標(指標)	進捗状況					
		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	
	中層型浮漁礁等を設置し、観光プログラム確立に向けた計画策定及び実証試験の検証を取りまとめる。	目標	漁礁2基設置 計画策定 実証試験	-	-	-	-
		実績	漁礁2基設置 計画策定 実証試験	-	-	-	-
	町内水産資源を生かした体験型観光の実施を行い、観光プログラムの構築に向けデータ収集を行う。	目標	-	生簀2基設置 実証試験実施	実証試験実施 データ収集	実証試験実施 データ収集	-
		実績	-	生簀2基設置 実証試験実施	実証試験実施 データ収集	実証試験実施 データ収集	-

事業完了後の取り組み								
事業完了後の成果目標	成果目標(指標)		達成/進捗状況					
	<input type="checkbox"/> 中期にわたる事業効果 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度に発現する事業効果		H26年度	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度 目標/発現年度	
	体験観光プログラム利用客数:396人以上		目標	-	-	-	-	396人
			実績	-	-	-	-	445人
			目標					
		実績						
状況説明		【H30年度】 ・利用客数は445人となり目標を上回った。						
【完了後】事業効果等の確認 (施設利用状況、効果発現状況、外部環境の変化等)			【完了後】改善措置等の検討 (事業効果の更なる向上等)					
【H30年度】 ・出港可能率が高い時期を事前にアナウンスしたことで、荒天によるキャンセルが減り利用客の満足度が高まった。また、当初に比べ漁礁への魚の付きがよくなり、プログラムに対する満足度が高まっている。これらをPRしたことで、利用者数の増加につながったと考えられる。			【H30年度】 ・利用者の内訳として、釣り経験者、又はその同伴者が大半となっているため、今後は釣り未経験者を含めた新規の利用者を取り込むことで利用者数の増加につなげる必要がある。					
今後の取り組み方針(関連・同種事業へのフィードバック等)								
【H30年度】 ・引き続き体験プログラムの状況をSNS等で幅広く発信し、新規利用者の増加を図る。								